

特定非営利活動法人 朔日の会
令和5年 事業計画

《年度方針》

私たちの使命は常に法人理念に一貫している。その上で、本年度は5つの重点項目を改めて確認し実行する1年とするよう、以下の事業計画を策定する。

1. 事業所現場を支え、法人運営の基盤を保全できる事務機能の確立をする。
2. 適正な経営に向けて、事業の継続・展開等の枠組みを短中期的に検討する。
3. 令和8年度長岡京市の共生型福祉施設整備事業に向けて関係市町村・金融機関との調整準備をする。
4. 対人援助技術の深化と並行して、職員としての基礎知識を浸透させる一年とする。
5. 虐待防止に向けた取り組みの徹底

《年度計画》

(1) 稼働率目標

損益の分析に基づき、事業の安定的な持続のため、稼働目標を以下の通り設定する。

種別	共同生活援助		短期入所	生活介護		放課後等デイサービス事業			相談事業	
事業所	Hor・Cos シュクレ	シュクレ サレ精華	シュクレ 精華	まほら 社	べるく社	きりん	きりん くらぶ	NOANOA	Equal 城陽	Equal 精華
稼働率 目標	90% (年平均)	90% (年平均)	85% (年平均)	100% (年平均)	65 % (年平均)	110% (年平均)	100% (年平均)	80% (年平均)	100件/年	70件/年

(2) 事務機能の整理・確立

- ① 業務分掌を明確化し、事業所管理者との効率的な連携を強化する。
- ② 総務・財務・経理について顧問税理士、顧問社労士によるOJT研修を実施する。
- ③ 法人運営のリスク管理を強化するため、専門分野の助言を得る体制を整備する。

(3) 各事業所における配置職員数の再検討

- ・ 法令上の配置基準と各種加算等を組み合わせ、安定経営ができるよう再検討を行う。
- ・ 新規事業を視野に入れた職員の採用と育成を計画的に行う。

(4) 利用受入れの拡大

- ① 成人通所事業所は、必ず毎月1回の休日営業を行う。
- ② 児童通所事業所は、事業計画に沿った休日療育と、成人部署の休日営業応援を積極的に行う。
- ③ GHの入退所管理をスムーズに行い、効率的に稼働できるシステムを構築する。

(5) 放課後等デイサービスの法改正への対応及び現状分析を踏まえ事業の在り方を検討

- ・ 2024年度の児童福祉法改正に向けて情報の収集を行い、「総合支援型」「特別プログラム特化型」への再編に向けて上半期中に検討して準備する。

(6) 法人職員基本研修

- ・ 福祉制度や緊急対応等の基礎知識を学ぶ機会を設定し、各部署より必要な職員が受講する。

(7) 虐待防止研修

- ・ 各事業所で、全職員への研修を徹底する。

(8) 第三者評価の受審

- ・ 事業所の運営年数や状況に応じて、可能な限り年度内に受審・公表する。